

5 所得税の確定申告書A(住宅借入金等特別控除を受ける場合)

〈記入例〉

給与所得者が住宅借入金等特別控除を受ける場合

年収……………源泉徴収票参照

購入物件……………購入価額47,900,000円（消費税等込）のマンション  
（内消費税等込建物価額26,900,000円）  
専有面積（登記簿面積）76.87㎡

入居日……………平成29年5月1日

借入金の年末残高…24,426,300円

平成 年分 給与所得の源泉徴収票											
支払 を受ける 者	東京都品川区東品川〇-〇-〇										(支給者番号)
	営業課長										(役職名)
	タナカ ヒデオ										(氏名)
	田中 秀男										(氏名)
種別	支払金額		給与所得控除後の金額			所得控除の額の合計額		源泉徴収税額			
給料・賞与	7 800 000		5 820 000			1 978 000		340 900			
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)						16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数
		特定	老人	その他	特別	その他					
○	0	2									
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額					
405 000		50 000		3 000							
(摘要)											
妻 陽子 長男 正彦 長女 由美											
生計維持者の家族の世帯	配偶者の家族	200,000	年末の所得		所得控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額
住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額
配偶者の氏名		氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
控除対象扶養親族		氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
外 国 人	死 亡 者	災 害 者	乙 欄	本人が障害者	寄 附 者	寄 附 者	寄 附 者	寄 附 者	寄 附 者	寄 附 者	寄 附 者
支 払 者		東京都千代田区丸の内〇丁目〇番〇号									
氏名		△商事株式会社									
		03-XXXX-XXXX									

平成 年分(特定増改築等)住宅借入金等特別控除額の計算明細書 FA4020

○この明細書は、(特定増改築等)住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合に使用します。  
○この明細書の書き方については、控用の裏面を参照してください。

整理番号

一面  
提出用

1 住所及び氏名 (共有者の氏名) ※共有の場合のみ書いてください。

住所	郵便番号 140-0002 東京都品川区東品川〇-〇-〇	フリガナ	
	電話番号 ( )	氏名	
フリガナ	タ ナカ ヒデ オ	フリガナ	
氏名	田中 秀男	氏名	

2 新築又は購入した家屋等に係る事項

居住開始年月日	① 平成 ××.05.01 (平成 )	土地等に関する事項	
取得対価の額 (補助金等がある場合は(付表1)の③の金額)	② 26900000	④ 21000000	
総(床)面積 ※小数点以下第2位まで書きます。	⑤ 76.87	⑥ 51.16	
うち居住用部分 の(床)面積	⑦ 76.87	⑧ 51.16	

3 増改築等をした部分に係る事項

居住開始年月日	⑨ 平成
増改築等の費用の額 (補助金等がある場合は(付表1)の④の金額)	⑩
うち居住用部分の金額	⑪

※ ⑩(補助金等がある場合は(付表1)の④の金額)が100万円を超えるときに、増改築等に係る住宅借入金等特別控除の適用を受けることができます。

4 特定取得に係る事項

家屋の取得対価の額又は増改築等の費用の額(2の②又は3の⑩)に含まれる消費税額等が、8%の消費税及び地方消費税の税率により課されるべき消費税額等である場合、右の「特定取得」の文字を○で囲んでください。

特定取得

5 家屋や土地等の取得対価の額

	① A 家屋	② B 土地等	③ C 合計	④ D 増改築等
あなたの共有持分 ※共有の場合のみ書いてください。				
あなたの持分に係る 取得対価の額等	⑤ 26900000	⑥ 21000000	⑦ 47900000	

6 居住用部分の家屋又は土地等に係る住宅借入金等の年末残高

	⑧ E 住宅のみ	⑨ F 土地等のみ	⑩ G 住宅及び土地等	⑪ H 増改築等
新築、購入及び増改築等に係る 住宅借入金等の年末残高			24426300	
連帯債務に係るあなたの負担割合 (付表2)の⑭の割合 ※連帯債務がない場合には、100.00%と書きます。			100.00	
住宅借入金等の年末残高 (付表2)の⑮の金額 ※連帯債務がない場合には、⑩の金額を書きます。			24426300	
②と⑤のいずれか 少ない方の金額			24426300	
居住用割合 ※50%以上である場合には、100.00%と書きます。			100.0	
居住用部分に係る住宅借入金等の年末残高 (⑩ × ⑰)			24426300	
住宅借入金等の年末残高の合計額 (⑧の⑧ + ⑨の⑨ + ⑩の⑩ + ⑪の⑪)				⑫ 24426300

※ ⑫の金額を二面の「住宅借入金等の年末残高の合計額⑫」欄に転記します。

7 特定の増改築等に係る事項 (特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合のみ書いてください。)

高齢者等居住改修工事等に係る特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合に、あなた又は同居親族の方について該当する欄をチェックします。	⑬ ⑩ 高齢者等居住改修工事等の費用の額 ※1	⑭ ⑪ 断熱改修工事等の費用の額 ※2	⑮ ⑫ 特定断熱改修工事等の費用の額 ※2
1 年齢が50歳以上(同居親族の方は65歳以上)……………			
2 障害者(1に該当する方を除きます)……………			
3 要介護認定又は要支援認定を受けている (1又は2に該当する方を除きます)……………			
同居親族の方が該当する場合は、その方の氏名等を書きます。 氏名( ) 続柄( )	⑯ ⑬ 特定多世帯同居改修工事等の費用の額 ※3	⑰ ⑭ 特定の増改築等工事の費用の合計額 (⑩+⑪+⑬)	⑱ ⑮ あなたの持分に係る特定の増改築等工事の費用の額 (⑫又は⑭×⑰の⑰)
特定増改築等住宅借入金等、特定断熱改修住宅借入金等又は特定多世帯同居改修住宅借入金等の年末残高 (⑫と⑱のいずれか少ない方の金額で最高250万円。ただし、住宅の増改築等(特定多世帯同居改修工事等に係るものを除きます。)が特定取得に該当しない場合は、最高200万円。)	⑲ ⑲		

※1 ⑩欄の金額が50万円を超えるときに、高齢者等居住改修工事等に係る特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受けることができます。  
※2 ⑪欄又は⑫欄の金額が50万円を超えるときに、(特定)断熱改修工事等に係る特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受けることができます。  
※3 ⑬欄の金額が50万円を超えるときに、多世帯同居改修工事等に係る特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受けることができます。

8 (特定増改築等)住宅借入金等特別控除額

二面の該当する算式のうち、いずれか一の算式により計算し、その番号を書きます。

(特定増改築等)住宅借入金等特別控除額(100円未満の端数切捨て) ※ 二面の⑲の金額を転記します。 ⑲ 200000

※下の適用を受ける場合には、該当する文字を○で囲んでください。

適用期間の特例	重複適用	重複適用の特例	※左の重複適用(の特例)を受ける場合に二面の⑲の金額を右に転記します。 ⑳
---------	------	---------	---------------------------------------

9 控除証明書の要否

平成29年分以後に年末調整でこの控除を受けるため、控除証明書の交付を要する方は、右の「要する」の文字を○で囲んでください。

要する

整理欄

整理欄	住	民	台帳番号	一連番号
-----	---	---	------	------

○この明細書は、申告書と一緒に提出してください。

